

大分空港海上アクセス整備事業における船舶及びターミナル施設への意見・要望及び回答について

区 分	主な意見・要望内容	回答
ターミナル施設	・改札口から船舶までの点字誘導ブロックを敷設してもらいたい。	改札口から船舶の乗降口まで、点字誘導ブロックの敷設を予定しています。
	・バス・タクシー乗降場からインフォメーションまで点字誘導ブロックを敷設し、施設入口にインフォメーションまでの音声案内をしていただきたい。	バス・タクシー乗降場からインフォメーションまで、点字誘導ブロックの敷設を予定しています。また、施設入口からインフォメーションまでの間は、音声案内や職員による誘導を検討します。
	・視覚障がい者にとって、今回のターミナル基地については柱の数が多すぎると考える。杖での歩行に支障があるので、構造上で最低限鉄筋とすべきものを木材で覆い、その他をバーチャル化していただければと思う。もしバーチャル化ができないようであれば、柱の数を最低限の数として、視覚障害者等が、歩くのに支障がないようにしていただくとともに、木材は角材ではなく丸材とするか、けが防止のため、緩衝材をつけていただければと思う。	視覚障がいのある方の歩行に支障がないよう、柱の数や配置などについて検討します。
	・柱の色も白いものがあるが、壁も白いため、ロービジョン者などの視認が難しくなることが予測される。視認性を高める工夫をお願いしたい。	ロービジョンの方の視認に支障がないよう、柱の色について検討します。
	・点字誘導ブロックは入り口からインフォメーション、待合室、トイレなどの最低限の案内があればいいと思う。あまり多くの点字誘導ブロックが張り巡らされているとどこに行ってもいいかわからなくなるため、そのため、インフォメーションには、常時2名以上配置していただき、視覚障がい者が訪ねてきた場合には、サポートできる人員を配置していただきたい。	点字誘導ブロックは、必要最低限の設置を検討します。また、インフォメーションにおいては、視覚障がい者をサポートできる体制の確保を検討します。
	・大分側のターミナルには視覚障がい者のための「音サイン」を設置し、移動ルートがほぼ決まっている空港側では誘導ブロックでの対応が計画されているが、空港側にも「音サイン」を設置してほしい。	空港側ターミナルにも「音サイン」の設置を検討します。
	・災害等発生時に屋外にいてもわかるよう、施設内外にモニターや緊急ランプなどを設置し、情報が伝わるようにしてほしい。	屋外においても確実な情報伝達が行えるよう、モニター等の設置を検討します。
	・屋上スペースを利用するためのエレベーターについては、電動やリクライニングタイプの大型の車いす利用者であっても利用しやすいよう、十分な幅の出入口を確保してほしい。	大分県福祉のまちづくり条例の基準を満たす仕様とし、電動車いす利用者等が利用しやすい出入口の幅を確保する予定です。
	・車いすユーザーが利用できる駐車場(5台以上)の設置及び、施設から船までの安全な移動確保並びに大分側での受け入れ体制の充実をお願いしたい。	車いす対応の駐車場を5台以上整備する予定にしています。また、施設から船まで安全に移動できる体制の確保を検討します。
	・施設駐車場に障がい者用のスペースが、どこに何台分予定されているのか気になる。多目的トイレの位置が施設内の出入口からもう少し近い位置にある方が、車いす障がい者が利用しやすいかもしれない。	車いす対応の駐車場については、ターミナル出入口から近い場所に5台分以上の整備を予定しています。また、多目的トイレの場所については、施設利用者の動線にも配慮した検討を行います。
	・ホーバークラフトが再び運航することは、大変良いことだと思う。それまでにコロナも収束すれば良いと思う。要望としては、障がい者が利用しやすいユニバーサルデザインやオストメイト対応の多目的トイレとしてほしい。大分空港を利用する方が増加するといひ。	大分県福祉のまちづくり条例の基準を満たすユニバーサルデザインとし、オストメイト対応の多目的トイレを予定しています。
	・トイレは、車椅子利用者のために十分なスペースが欲しい。	大分県福祉のまちづくり条例の基準を満たすバリアフリートイレ(多目的トイレ)とし、十分なスペースの確保を図る予定です。
	・心臓疾患の障がい者は、長距離を歩くのは無理がある。下船して空港に行くまで歩けない。羽田空港にあるような動く歩道を作っていただきたい。	心臓に負担がある方については、車いすを準備するなどの対応を検討します。
	・視覚障がい者に改札の位置などを知らせるための誘導ブロックの設置を希望する。音声案内の実施も必要である。	ターミナル入口から改札まで点字誘導ブロックの敷設を予定しています。また、音声案内や職員による誘導についても検討します。
	・聴覚障がい者が連休や遅延の情報を把握しやすいよう、電光掲示板などを使った文字情報の充実を希望する。	聴覚障がいのある方が適切に情報を把握できるよう、電光掲示板による文字情報の発信を検討します。
	・障がい者の駐車場はターミナル施設の入口近くをお願いしたい。雨天時に濡れることがないように、屋根付きを希望する。	障がい者のための駐車場の位置につきましては、ターミナル出入口から近い場所を予定しています。また、雨天においてもできるだけ濡れないよう配慮致します。
	・ホーバークラフトの乗下船時に雨に濡れることがないように、屋根付き歩廊の設置などを検討したい。	乗下船時に雨に濡れることがないように、屋根付き歩廊の設置などを検討します。
	・障がい者用トイレ及び駐車場の設置数に配慮してほしい。	障がい者が利用しやすいバリアフリートイレ(多目的トイレ)は男女別に1箇所ずつ、障がい者のための駐車場は5台分以上の設置を予定しています。
・大分側のターミナルの駐車場に車いす利用者専用スペースとともに、障がい者専用スペースの設置を希望する。(歩行困難者用)	車いす利用者のための障がい者専用駐車場を5台分以上と、障がい者専用の乗降スペースを1箇所整備する予定です。	
・大分空港側ターミナルにおいて、空港搭乗口までの全面バリアフリー化を希望する。	大分県福祉のまちづくり条例の基準を満たす仕様とし、スロープの設置に加えて、車いす利用者が利用可能な段差解消機の設置を予定しています。	

大分空港海上アクセス整備事業における船舶及びターミナル施設への意見・要望及び回答について

ターミナル施設	<p>・ホーバークラフトを利用者は、短時間の駐車場利用は少ないと思われる。夜間の車へのいたずらが心配なので、周囲を囲って侵入できないようにできればよい。</p>	<p>駐車場における夜間の防犯対策について検討します。</p>
	<p>・身体障がい者の意見が反映された施設の設計をお願いしたい。</p>	<p>いただいた意見、要望については、可能な限り施設の設計に反映し、バリアフリー対応を進めます。</p>
船舶	<p>・船舶の中にも簡易型の点字誘導ブロックを敷設してもらいたい。</p>	<p>視覚障がいのある方の誘導については、今後、船舶の設計を行う中で、点字誘導ブロックの設置を含めて検討します。</p>
	<p>・船舶の仕様に車いすスペース1箇所以上となっているが、必ず複数個設置していただきたい。</p>	<p>車いすに乗ったままの状態に乗船可能な車いすスペースを乗降口の近くに設ける予定にしていますが、例えばシート部分を収納できる座席を最前列に設けるなど、なるべく多くの車いすスペースを確保できる方法について検討を進めます。</p>
	<p>・船内で車いすが固定できるストッパー及び身体を固定するベルト等を用意していただきたい。</p>	<p>車いすスペースには、車いすを固定することができる設備と、車いす利用者が装着できるベルトの設置を検討します。</p>
	<p>・車いすスペースとして、高齢者・障害者用と最低2か所、確保してほしい。</p>	<p>車いすに乗ったままの状態に乗船可能な車いすスペースを乗降口の近くに設ける予定にしていますが、例えばシート部分を収納できる座席を最前列に設けるなど、なるべく多くの車いすスペースを確保できる方法について検討を進めます。</p>
	<p>・座席の横に、たたんだ車いすを置くスペースが欲しい。</p>	<p>バリアフリー客席に可能な限り近い場所に、そのまま、又は折り畳んで収納できる車いすスペースの確保を検討します。</p>
	<p>・車いすでの乗降や足腰の弱い方などが安心して乗れるように、乗り降りの便利性を充実してほしい。</p>	<p>新たに導入するホーバークラフトはスロープや手すりを備えるなど、車いす利用者等の乗降に配慮した仕様とします。</p>
	<p>・船舶内に車いすスペースは1台以上とあるが、車いす障がい者の団体が乗船した場合の対応をお願いしたい。</p>	<p>車いすに乗ったままの状態に乗船可能な車いすスペースを乗降口の近くに設ける予定にしていますが、例えばシート部分を収納できる座席を最前列に設けるなど、なるべく多くの車いすスペースを確保できる方法について検討を進めます。</p>
運営	<p>・点字誘導ブロックで誘導されない場所までの職員による案内をお願いしたい。</p>	<p>点字誘導ブロックのない箇所においても、視覚障がいのある方の移動に支障がないような配慮を検討します。</p>
	<p>・船舶内で流す映像等に字幕、手話通訳をつけて欲しい。</p>	<p>船舶内で流す映像には、聴覚障がいのある方に配慮した字幕等を付けるように検討を進めます。</p>
	<p>・乗船手続後、トイレや買い物、食事などをする際の移動に困るので、サポート体制がとれるようにインフォメーションに人員を配置していただきたい。</p>	<p>インフォメーションにおけるサポート体制については、人員配置を含めて検討します。</p>
	<p>・ターミナルや船舶内にタブレットを置き、遠隔手話通訳サービスを利用できるようにしてほしい。</p>	<p>手話通訳が必要な方がターミナル施設やホーバークラフトを利用しやすい環境となるような方法について検討します。</p>
	<p>・ホーバークラフト乗船時に付き添いがいない場合、事前に伝えておけば対応できるようにしてほしい。</p>	<p>身体障がいのある方を含めて、事前にご予約いただいた場合には付添いのサポートなど必要な配慮を行える体制を検討します。</p>
	<p>・乗船料金の割引を公表してほしい。高速割引、JR割引、航空料金などと同様をお願いしたい。また、駐車場の割引ができればよい。</p>	<p>運賃や駐車場料金の割引については、割引額や割引方法を含め今後検討します。割引等を含む運賃について、決定後に公表します。</p>
	<p>・車いす利用者に対するターミナル職員の支援をお願いしたい。</p>	<p>車いす利用者の方が安心してホーバークラフトとターミナル施設を利用できるよう、できる限りの支援を行います。</p>
	<p>・シンプルかつ大きな文字で、分かりやすい案内表示をしてほしい。</p>	<p>フロア内どこからでも視認できる場所に、文字情報を配信できる大型のサイネージを設置する予定です。</p>

大分空港海上アクセス整備事業における船舶及びターミナル施設への意見・要望及び回答について

運営	・大分側ターミナルにおいて、乗船の際に車いす利用者やその他障がい者への補助員の配置を希望する。	障がいのある方の乗船に支障がないよう、可能な限り職員による補助を行う予定です。
	・聴覚障がい者が目で見てわかる情報提供ができるよう配慮していただきたい。	フロア内どこからでも視認できる場所に、文字情報を配信できる大型のサイネージを設置する予定です。
	・聴覚障がい者や手話についての学習会を開催してほしい。	聴覚障がい者や手話に対する職員の理解を深めるための対応を検討します。
	・聴覚障がい者は聞こえ方によってコミュニケーション手段が様々あるので、聞こえない障がいについて職員の理解を深める学習をしてほしい。	聴覚障がい者や手話に対する職員の理解を深めるための対応を検討します。
	・手話学習会を開催するなどして、挨拶など簡単な手話を職員に覚えていただきたい。	聴覚障がい者や手話に対する職員の理解を深めるための対応を検討します。
	・共生社会の実現に向けて、障がい者が福祉サービスを通して、作成したアート等の作品を広めるレンタルスペースを設置運用してもらいたい。	ターミナル施設のスペースの活用方法については、今後施設配置の決定後に検討します。
	・身体障がい者が安心・安全に乗船、航行できる環境を整備していただきたい。	いただいた意見や要望を可能な限り反映し、バリアフリー対応を進めます。
	・大分空港側ターミナルから空港入口まで、歩行困難な障がい者や高齢者のための車いすの貸与や荷物の運搬などのサービスを希望する。	大分航空ターミナル(株)とも協議しながら、両ターミナル間の円滑な移動について検討します。
	・ターミナルには車いすの準備が行われるのか。	貸出用の車いすをターミナルに準備する方向で検討しています。
	・障がい者と付添者の運賃割引を希望する。	運賃の割引については、割引額や割引方法を含め今後検討します。
・運航開始前に、障がい者を対象とした体験乗船会を希望する。	障がいのある方を含め、運航開始前に体験乗船会を実施する予定にしています。	
その他	・旅客ターミナルについては、駐車場とホーバークラフト乗降場所を最短で結ぶ場所に配置してほしい。	駐車場から最もスムーズにホーバークラフトに乗船できる場所に旅客ターミナルを配置します。
	・大分駅とホーバークラフト発着地をつなぐアクセスバスをお願いしたい。	西大分地区のホーバークラフト発着地が、空港利用者にとって新たな交通結節点(ハブ)となるよう、JR大分駅とのバス路線を始め、発着地からの二次交通の広がりに力を入れたいと考えており、今後、関係者との協議を進めます。